

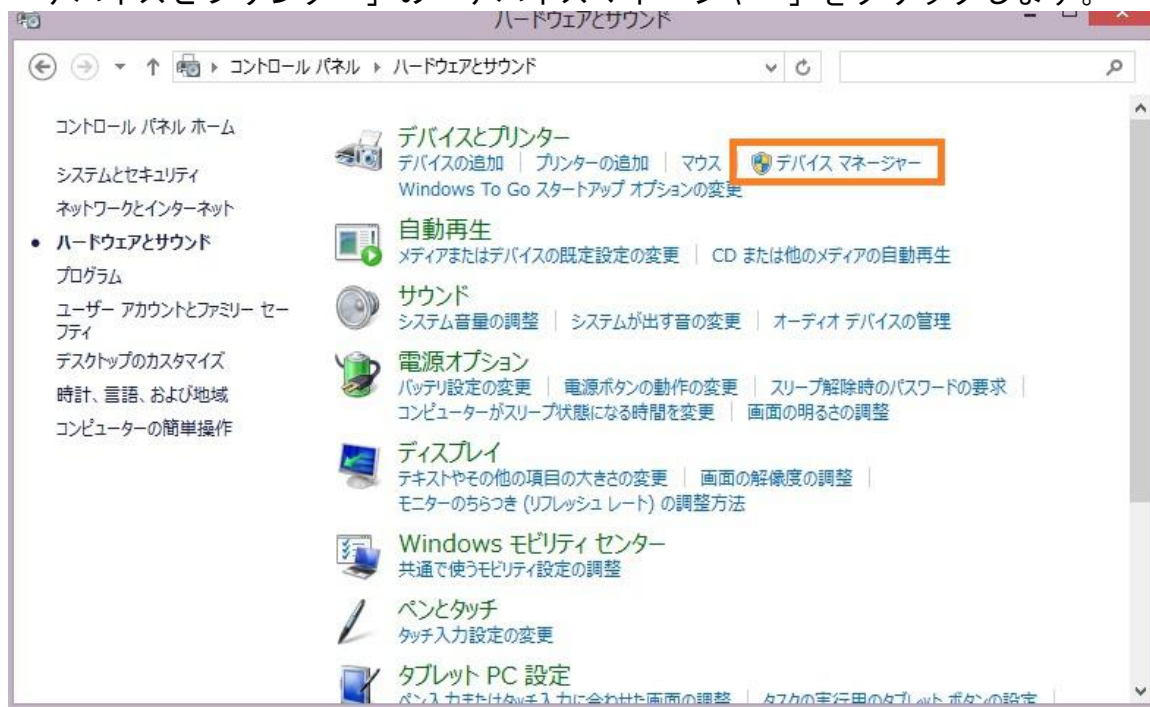
## 別紙 1 デバイスの認識状況確認

### 【確認手順】

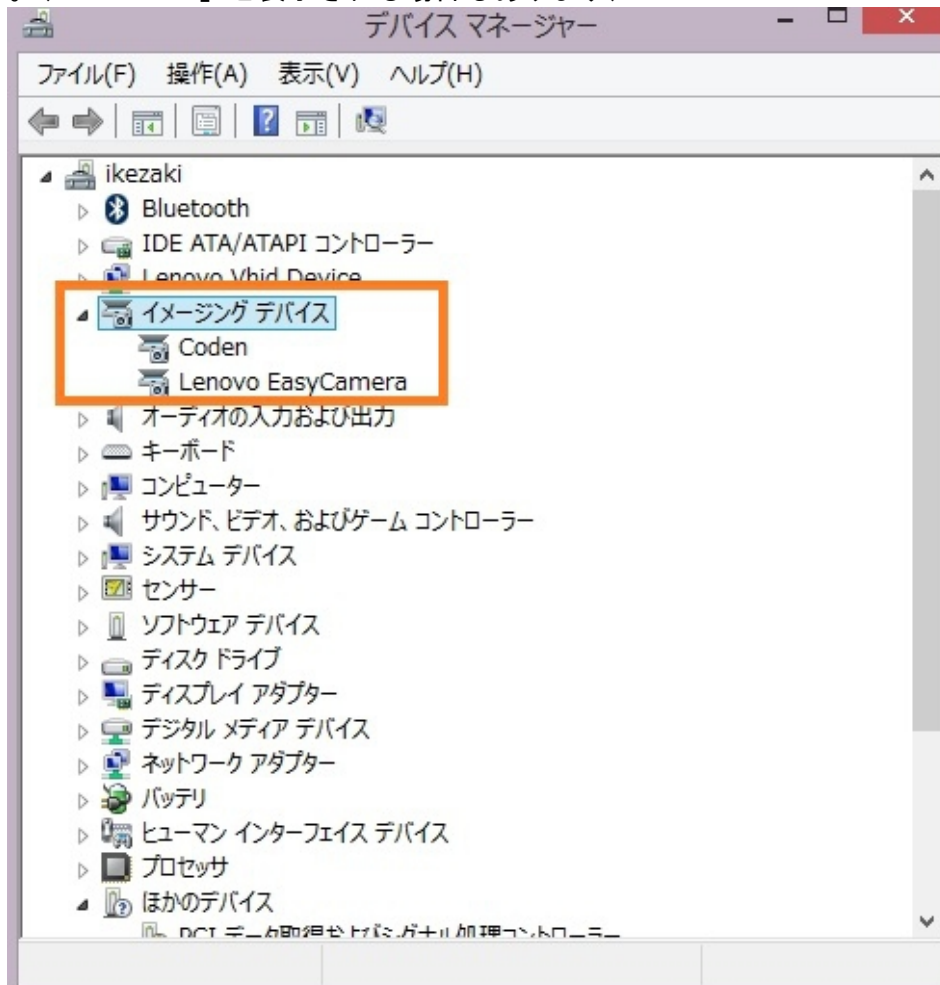
イヤスコープを挿入した状態で、コントロールパネルを起動します。  
「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



「デバイスとプリンター」の「デバイスマネージャー」をクリックします。



デバイスマネージャーのリストの中から「イメージングデバイス」を探します。  
イメージングデバイスの左側三角形をクリックします。  
デバイスドライバーのリストが表示されます。この中に「Coden」があるか確認します。  
(「Ehecamera」と表示される場合もあります)



・「Coden」の表示がない場合

「イメージングデバイス」の上で右クリックします。

「ハードウェア変更のスキャン」を選択してください

この操作により「Coden」が新たに表示されましたら、イヤスコープソフトを起動してください。

それでも表示されない場合は、別の原因が考えられます。

・「Coden」の表示がある場合、「Coden」以外の名称になっている場合

「Coden」の上もしくはイヤスコープと思われる機器の名称の上（例えばUSBcameraなど）で右クリックします。メニューが表示されるので、ドライバーをアンインストールします。

次に「イメージングデバイス」の名前の上で右クリックします。

「ハードウェア変更のスキャン」を選択して下さい。

しばらくして「Coden」が表示されましたら、イヤスコープソフトを起動してください。

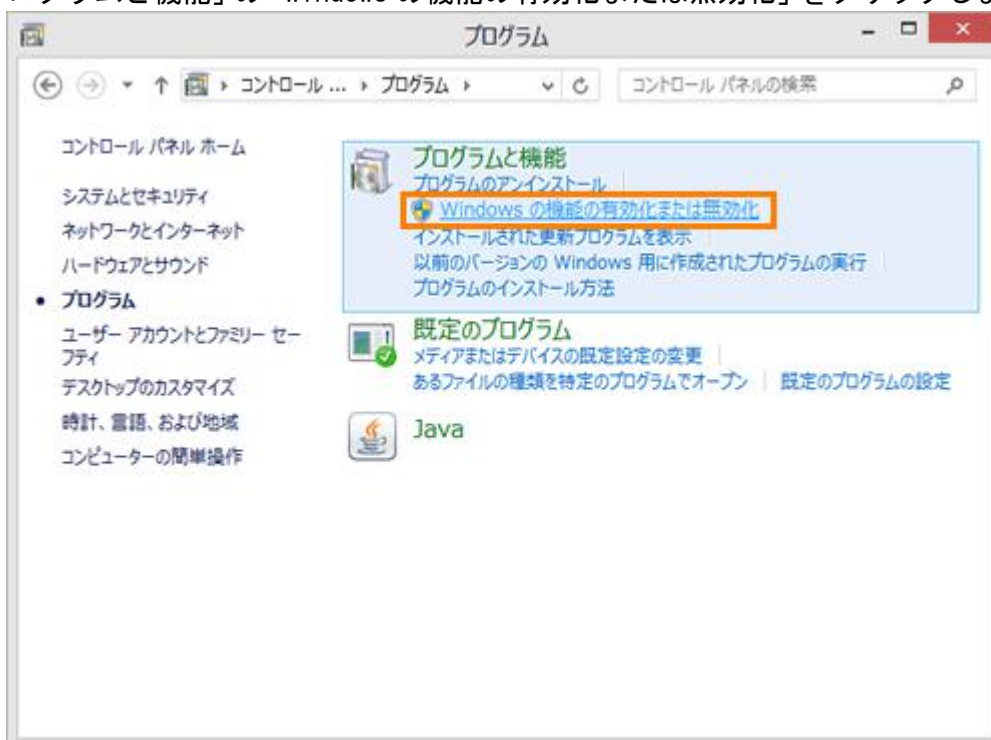
## 別紙2 Microsoft.NET Framework3.5の有効化

### 【確認手順】

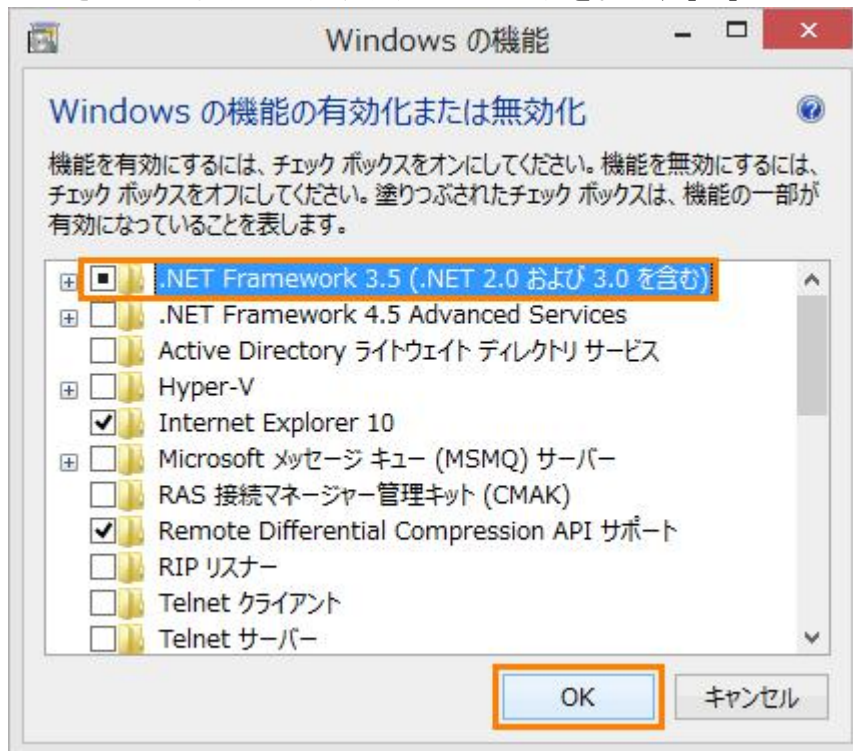
コントロールパネルを起動します。  
「プログラム」をクリックします。



「プログラムと機能」の「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。



「 .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」はチェックされていますか？されていない場合はクリックしてマークを付け、[OK] ボタンをクリックします。



以上